

平成28年度学校評価について(職員用)

A・・・十分あてはまる B・・・概ねあてはまる C・・・不十分である D・・・全くあてはまらない
 評価は「Aを4、Bを3、Cを2、Dを1」として、回答者全員の評価を平均した(満点4)。

視点	No.	評価内容	評価
1	授業・学習	1 授業の工夫・改善によって「わかりやすい授業」を実践している。	3.8
		2 学習内容を確実に身に付けられるように、個に添った指導を行っている。	3.4
		3 理解しやすいように、質問には丁寧に答えている。	3.6
		4 授業時の教室環境を整えている。	3.5
2	行事・部活動	5 学校行事に熱心に取り組めるように指導している。	3.9
		6 充実した部活動が行えるように配慮している。	3.1
		7 学校行事や部活動等を通して生徒との良好な人間関係を築いている。	3.5
		8 学校行事等を通して社会性等が養えるよう考慮して指導している。	3.5
3	学校生活	9 挨拶の励行や時間の厳守等の基本的な生活習慣が身に付くような指導をしている。	3.5
		10 服装・整容指導等をしっかりと行っている。	4
		11 相談には親身になって耳を傾けている。	3.9
		12 指導の際には生徒の特性を考慮して行っている。	3.9
4	進路	13 将来の目標を見つけようとする姿勢を育む指導をしている。	3.1
		14 将来の進路目標が達成できるよう、個の特性を考慮した指導をしている。	3.5
		15 進路目標達成に向けて組織としての指導ができています。	2.9
		16 出願書類作成や面接練習の依頼等に適切に応じています。	3.9
5	学級	17 学級通信等で、生徒の学校での様子を保護者に伝えている。	3.5
		18 生徒一人ひとりの表情、言動や体調等に注意している。	3.8
		19 気になることがあれば、すぐに保護者に連絡を取るようになっている。	3.8
		20 学校生活を快適に送れるように、クラスの雰囲気良くなるような配慮をしている。	3.6
6	地域連携	21 保護者や地域の方々に学校行事等の発信をしている。	3.3
		22 学校行事等で保護者や地域の方々の協力が得られている。	3.5
		23 他校と連携した行事などで生徒同士が交流しやすいように配慮している。	2.9
		24 ボランティア活動等を行うなど、地域の期待に応えている。	3.1

平成28年度学校評価(職員用)についての意見・感想

視点1

授業・学習

各教科とも生徒の実態に合わせ、適切な指導方法を工夫することができている。
能力差はあるが、みんなが楽しいと思える授業を心掛けている。
興味・関心を喚起する資料の提供を行っている。
少人数ならではの、個に応じた丁寧な指導ができている。
少人数の特性を生かした指導が実施されていると思う。

視点2

行事・部活動

少ない人数ながら活気ある行事や部活動となるよう工夫しつつ、職員・生徒が協力し合うことができている。
少人数でも、達成感・充実感が得られる活動を心掛けている。
学年縦割りの係配置など、人間関係の構築を考慮している。
少人数ではあるが、様々な工夫で充実した活動ができている。
少人数ではあるが、時間を区切って計画的に行事の準備に取り組ませている。
稲高祭に実業部として積極的に参加できるような指導ができた。
生徒の事を考慮した種目等を実施していると思う(体育行事)。

視点3

学校生活

挨拶等の生活基本事項の指導は行き届いている。
元気な挨拶の励行は、今後も指導が必要である。
挨拶運動は全校生徒で行えた(週番活動)。
生徒の特性を職員全員が把握できており、安心した学校生活を送れている。
全職員で情報を共有して指導できていると思う。

視点4

進路指導

例年、「行きたいところ」よりも「行けるところ」に進路目標を合わせてしまいがちだが、今年度の3年生は、ほぼ全員が当初の希望どおりの進路に落ち着いた。
今後も職員全体で支援していきたい。
生徒の多様なニーズに応じている。
生徒の能力と希望のギャップをどう埋めるかが課題。
全職員で情報を共有して指導できていると思う。

視点5

学級経営

担任を中心に職員が共通理解のもと、生徒に細やかに対応することができている。
保護者との良好な関係作りが大切である。
担任の先生たちがすごく丁寧にやっている。
生徒一人ひとりが自分の役割をしっかりとこなせている。自分の居場所・役割があるのがいい。
全職員で情報を共有して指導できていると思う。

視点6

地域との連携

来年度はさらに少人数で教育活動を充実させるために、地域・保護者との連携を強化する必要があると考える。
HPでの発信が少なかった。
閉校に向けて、地域との連携がさらに重要である。
地域への発信が弱い気もする。
閉校に関連した行事等で、近隣地域からの協力がより必要になってくると思います。
学校の生徒・職員以外との交流を増やすべき(特に同年代)。